１２／８（木）の発表

はじめよう、つづけよう。
「新北海道スタイル」
～新型コロナウイルスに強い北海道をつくる～ 新北海道スタイル

報道発表資料の配付日時　１２月８日（木）１５時００分

発表項目（行事名）	野鳥における高病原性鳥インフルエンザ発生状況（高病原性確定、渡島総合振興局　七飯町　道内15例目）について		
記者レクチャーのお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	○　11月28日に七飯町内で回収された死亡野鳥（オオハクチョウ）１羽について、環境省から、12月７日に国立環境研究所で実施した遺伝子検査で高病原性鳥インフルエンザウイルス（Ｈ５亜型）が確認された旨、連絡がありました（今シーズン道内15例目）。 〈今後の道の対応〉 (1)　渡島総合振興局は、野鳥監視重点区域において監視を強化します。なお、現時点で道内において野鳥の大量死等の異状を認める報告はありません。 (2)　回収地点から半径３km の区域内にある家きん飼養農場については、飼養家きんに異状がない旨を確認済みです。 　なお、現時点で道内の家きん飼養農場において、異状を認める報告はありません。 (3)　北海道海外悪性伝染病警戒本部幹事会構成員には情報共有をもって発生予防対策の徹底を図ります。 ※別添資料　R4シーズンの野鳥の高病原性鳥インフルエンザ発生状況		
参考	○　高病原性鳥インフルエンザは、感染した鳥と密接に接触するなどの特殊な場合を除いて、通常では人に感染しないと考えられています。日常生活においては、過度に心配する必要はありません。		

報道（取材）に当たってのお願い	○　死亡していたり、衰弱している鳥などの野生動物を見つけても、素手で触らない、触った場合は手洗いするなど、死んだ鳥などの野生動物との接し方について注意喚起をお願いします。 ○　高病原性鳥インフルエンザ発生防止のため、引き続き、家きん飼養農場における飼養衛生管理の自己点検や消毒の徹底について、積極的な報道による注意喚起をお願いします。	
他のクラブとの関係	同時配付 同時レク	渡島総合振興局

担当（連絡先）	・環境生活部自然環境局野生動物対策課野生鳥獣係（担当者：鈴木） ＴＥＬ：011-231-4111（内線24-381）ダイヤルイン:011-204-5223 ・農政部生産振興局畜産振興課家畜衛生係（担当者：中田） ＴＥＬ：011-231-4111（内線27-791）ダイヤルイン:011-204-5441

令和4年12月8日　15 時現在

令和４（2022）年シーズンの野鳥の高病原性鳥インフルエンザ発生状況

（令和４年10月～）

本件	○例目	回収日 採取日	場所		検体情報			簡易 検査	遺伝子 検査	病原性
			振興局	市町村	検体の種類	種名	羽数			
	野鳥１例目	10/8	根室	別海町	糞便	ガンカモ類				高病原性
	野鳥２例目	10/23	オホーツク	紋別市	糞便	ガンカモ類				高病原性
	野鳥３例目	10/28	石狩	札幌市	死亡野鳥	ハシブトガラス	1			高病原性
	野鳥４例目	11/6	オホーツク	斜里町	死亡野鳥	オオセグロカモメ	1	陽性	陽性	高病原性
	野鳥５例目	11/10	オホーツク	斜里町ウトロ西地区	衰弱野鳥	ハシブトガラス	1	陽性	陽性	高病原性
	野鳥６例目	11/16	オホーツク	網走市	死亡野鳥	オオセグロカモメ	1	陽性	陽性	高病原性
	野鳥７例目	11/16	オホーツク	斜里町	衰弱野鳥	ハシブトガラス	1	陽性	陽性	高病原性
	野鳥８例目	11/18	十勝	帯広市	死亡野鳥	マガモ	1	陽性	陽性	高病原性
	野鳥10例目	11/19	根室	中標津町	死亡野鳥	オオハクチョウ	1	陽性	陽性	高病原性
	野鳥９例目	11/20	釧路	釧路市	衰弱野鳥	タンチョウ	1		陽性	高病原性
	野鳥11例目	11/21	渡島	八雲町	死亡野鳥	ハシブトガラス	1	陽性	陽性	高病原性
	野鳥12例目	11/23	十勝	浦幌町	死亡野鳥	オジロワシ	1	陽性	陽性	高病原性
	野鳥13例目	11/24	胆振	むかわ町	死亡野鳥	ハシブトガラス	1	陽性	陽性	高病原性
	野鳥14例目	11/26	オホーツク	斜里町ウトロ西地区	死亡野鳥	ハシブトガラス	1	陽性	陽性	高病原性
●	野鳥15例目	11/28	渡島	七飯町	死亡野鳥	オオハクチョウ	1	陰性	陽性	**高病原性**
	疑い	12/2	胆振	厚真町	死亡野鳥	ハヤブサ	1	陰性	陽性	検査中
	疑い	12/5	釧路	釧路市	死亡野鳥	ハシブトガラス	2	陽性	検査中	